

⑥ やまなしパワーNEXTについて

渡辺 原油や天然ガス等の燃料費の高騰やウクライナショックにより、県内企業の中には、電力供給先との契約に苦慮している企業もあると聞いている。

一方、県では東京電力エナジーパートナーと共同して、県内企業に安価な電力を供給する「やまなしパワー」の事業を実施して、昨年度までは「やまなしパワー Plus」として、本年度からは供給対象の業種の拡大や割引率の増加を図るなどパワーアップして「やまなしパワー NEXT」として事業を継続している。

このような電力の確保が厳しい状況の中で、県が積極的に事業に取り組むことにより、安定的に安価な電力供給が可能となり、県内企業に安心感を与え、企業の事業継続に役立っていることは大いに評価するところだ。

そこで、本年度から始まっている「やまなしパワー NEXT」の現在の契約状況や、今後の取り組みについて伺う。

公営企業管理者 やまなしパワーNEXTでは、対象業種に、新型コロナで大きな影響を受けた医療・福祉、小売業、飲食店等を加えるとともに、新規立地企業や経営拡大企業への割引率の拡大等、制度改善を図っている。

やまなしパワーPlusに加入していた企業の約9割が当事業に移行し、新規加入を加え、本日時点377箇所、概ね年間2億4千万kWhの供給量となり、供給枠に対し約5割の契約となっている。

また、電力供給を中止する小売電気事業者がある中、県内企業からは、契約移行に関する問い合わせが多数あり、当事業への加入企業も徐々に増えている傾向にある。

供給枠として、県内既存企業に対し2.7億kWh、新規立地・経営拡大企業に対し1.5億kWh、CO₂フリープランとして0.5億kWhと上限があるものの、まだ余力がある。東京電力エナジーパートナーと協議の上、更なる周知を図り、県内の製造業等や、県外から県内に進出する企業等へ利用を促していく。



⑦ 高校の学習指導要領改訂に伴う新科目「情報I」の取り組みについて

渡辺 高校における学習指導要領の改訂に伴い、すべての生徒が履修する新科目「情報I」が導入され、情報セキュリティや情報モラルなどの学習分野に加え、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習を通して、プログラミングや情報通信ネットワーク、データ活用の基礎を学ぶことになった。

また、今年の一年生が受験する大学入学共通テストから「情報I」は出題科目となり、高校生にとって日々の生活に必要な情報活用能力を身につけるとともに、それぞれの将来に向けても非常に重要な科目となっていく。

しかしながら、「情報I」は教える内容が幅広く、更に技術が日々急速に進化している分野であり、中でもプログラミングやネットワークについては指導が難しいとされ、授業を担当する教員の負担が増してくることは容易に想像できる。県としてどのように取り組んでいくのか伺う。

知事 この「情報I」では、これまで生徒への指導のノウハウが確立されていないプログラミングやデータ活用などのデジタルの分野を指導していくことが求められている。そのため県では、「情報I」を学ぶ全ての高校生が分かりやすく、かつ、実践的に学習できるよう、民間事業者が開発した教材を試行的に導入するための所要の経費を、6月補正予算に計上した。

全ての高校生に、これからの時代に必要不可欠となるデジタルの力による課題解決力を身に付けてほしいと強く願っており、引き続き、未来の山梨を担う人材の育成に向けて、知事としての責務をしっかりと果たしていく。



指定管理施設・出資法人調査特別委員長に就任

6月定例県議会の閉会日におきまして、指定管理施設の管理の業務又は経理の状況及び県が出資している法人の経営状況を調査する「指定管理施設・出資法人調査特別委員会」の委員長に選任されました。

調査対象は、指定管理者に委託している48施設と県が資本金等の4分の1以上を出資

している29法人となります。同委員会は、閉会中も当該施設・法人の審査や現地調査などを継続して行い、その結果を9月定例県議会に報告する予定となっておりますので、委員長として充実した委員会活動となるよう取り組んで参ります。



■富士山北麓地区火山砂防事業着工式 (令和4年5月28日)



■第18回Mt.富士ヒルクライム (令和4年6月12日)



■富士山開山前夜祭 (令和4年6月30日)



■山梨県立博物館夏期企画展「たんけんはっけん」南極展～社大な自然と人々の物語～オープニング・セレモニー(令和4年7月15日)



■富士吉田忍野スマートインターチェンジ 開通式典(令和4年7月24日)

Dreams

富士吉田市と山梨県の夢を実現するために

ロシアによるウクライナへの侵略行為の様子が連日、報道されております。傷ついた方々や破壊された街などを見るたびに胸が痛むばかりであります。

このような力による一方的な現状変更は、決して許されて良いものではなく、我が国も国際社会の一員としてロシアに対して毅然とした態度で制裁等の対抗措置をとり続けていくべきであると考えます。

今回のことから、我が国の国防の在り方や重要性を改めて考えさせられますが、そのこと以上に世界中が平和になることを強く願っております。



Profile Junya Watanabe

- 1978年7月5日…富士吉田市生まれ
- 2015年4月…山梨県議会議員 初当選
- 2015年10月…自由民主党山梨県支部連合会 青年部長
- 2019年4月…山梨県議会議員 2期目当選
- 2019年5月…山梨県議会 教育厚生委員長
- 2019年10月…自由民主党山梨県支部連合会 青年局長
- 2020年3月…山梨県議会 農政産業観光委員長
- 2021年3月…山梨県議会 総務委員長
- 2022年6月…山梨県議会 指定管理施設・出資法人調査特別委員長

また、先に行われました参議院選挙における街頭演説中に安倍元総理が卑劣な暴力により命を落とされるという衝撃的な事件が起きました。

安倍元総理におかれましては、憲政史上最長の8年8か月にわたり、卓越したリーダーシップと実行力をもって、厳しい内外情勢に直面する我が国のために内閣総理大臣の重責を担ってこられました。その御功績は多大なものであり、心から哀悼の誠を捧げます。

私の2期目の任期も事実上の最終年度に入りましたが、暴力に屈せず民主主義を断固として守り抜く決意を胸に、今後も県政の発展と県民生活の向上のため、全力で取り組んでいくことをお誓い申し上げます。

6月の定例県議会におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する各種施策をはじめ、「富士山登山鉄道構想」や「保育士確保に向けた取り組み」などの様々な県政課題について一般質問しました。その質問と答弁の要旨をお届けしますので、皆様のご意見をお待ちしております。

山梨県議会議員 渡辺淳也

